

練馬区経済課産業計画係御中

スケジュール変更があったため、先日の会議後申し上げましたように、次回懇談会には、申し訳ありませんが参加できなくなりました。

懇談会で、意見を述べられませんので、練馬区の産業振興のための具体的な提案をさせていただきます。

光が丘周辺は、関越道路の出口で目白通りにつながっており、笹目通りや、環八も近くにあり、交通量も結構多いと思います。練馬区には、「道の駅」はなかったと認識していますが、これらの道路を通る車が寄り道できる練馬区初の「道の駅」を作ればどうでしょうか。練馬には農家が多くあるので、野菜スタンドや販売所が数多くありますが、規模が小さく、種類も少ないので近くの住人が利用するだけです。ネリコレも増えてきていますので、各種のネリコレや、新鮮な野菜類や、練馬で唯一の牧場のアイスクリーム等を毎日店頭に並べれば、車で通る人達だけでなく、練馬区の各所からも人が集まるのではと思います。更にアニメ関連も活用すればと思います。場所は、メイン道路からそれ程離れていなくて、駐車場が十分取れ、建物が既に在る所で、話題性を提供するという意味で、統廃合される光が丘の小中学校から選定すればと思います。(既に検討は進んでいるとは思いますが・・・)

更に、ここに観光協会の出張所を置き、練馬区の観光名所の案内や、様々な物産の紹介をし、今、観光協会で養成している観光ガイドの方や、野鳥の会、バードサンクチュアリのNPOの方などを交代で常駐させて、練馬区の紹介や、要望のあった方に実際にガイドを実施することを検討すればどうでしょうか。小中学生の社会科勉強にも使えるのではと思います。地元の業者や店舗との問題や、自動車の通行量増加など課題もあると思いますが、雇用も少しは増えると思いますので、検討する価値はあるのではと思います。

もう一つは、緑の多い練馬の利点を活かした名所作りです。練馬には桜の名所は結構多いので、春には人が集まりますが、そのほかの季節には、区外に観光に出かける人が多いのではと思います。練馬区には多くの公園や河川があり、畑も多くあります。これらの資源をより強調することで、名所を作り上げることはできないでしょうか。例えば、練馬駅の近くには平成つつじ公園がありますが、この地区全体をつつじでまとめて、散策コースを作って、全てつつじを楽しめるコースを作るとか、向日葵やコスモスを楽しめるように、地域を限定して、向日葵畑やコスモス畑(公園でも良いのでは)を作って、満開の季節には、他に出かけるのではなく、他から人が集まるようにしてはどうでしょうか。白子川や、石神井川では、例えば水仙ロードや菖蒲ロードを作るとかして、季節ごとに花を楽しめる場所を作ることは考えられないでしょうか。それぞれの地域には、協力してくれる団体が数多くあるのではと思います。練馬区の方針として観光客を呼び込み、近くの商店を活性化させるために、肥えた土地を活かした名所作りをしてみるということではどうでしょうか。

どのように進めるかは、それぞれの地区の住民と話し合い、官民共同で、共に楽しみながら、新しい名所作りをしてみてはと思います。如何に、練馬で足をとめて頂くか、足を運んで頂くかを考え、実行されればと思います。

以上